

シマシ SDGs パートナースとは？

～志摩市版官民連携プラットフォーム～

① シマシ SDGs パートナースとは？

SDGs の達成や持続可能なまちづくりを目指し、志摩市とともにパートナーシップで取り組んでいただくパートナーの集い場、プラットフォームのことです。

「シマシ SDGs パートナース」は SDGs 達成を目指すみなさんの集い場としての位置づけです。

② ここで言う「パートナー」とは？

集い場である「シマシ SDGs パートナース」に登録された企業、団体、個人事業主等を指します。SDGs 未来都市である志摩市とともに SDGs を「ものさし」とした地域課題の解決や、地域の活性化などに取り組む同じ目標をもった「仲間」のことです。

③ ところで「SDGs(エスディーズ)」って何？！

SDGs は、「持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals」の略称で、2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す国際目標です。17のゴールと169のターゲットで構成されており、「誰一人取り残さない」ことを理念に、多様性と包摂性のある社会を実現するため、世界各国、日本各地で、達成に向けた取組が広がっています。

国連での採択から5年経過した2020年から2030年までの10年間を「行動の10年」とし、国連は取り組みを加速させていくことを世界中の人々に呼びかけています。

「行動の 10 年」に突入した私たちも、国際社会の一員として、SDGs の実現に貢献していくことが求められています。

④ 社会の評価は変化しています！

新型コロナウイルス感染症の影響により、日々の生活は一変しました。今こそ、ポストコロナに向けて持続可能なまちづくりにみんなで取り組んでいかなければなりません。

SDGs を知らなくても、実は既に取り組んでいたり、SDGs を知っていても、わざわざ「SDGs」を掲げて活動しなくてもいいじゃないか、という方もいるかもしれません。

しかし、社会は変容してきており、例えば、ここ十数年の間に注目が高まっている ESG 投資(「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(ガバナンス=企業統治)」の頭文字をとったもので)は、どれだけ儲かっているかなどの財務情報以外に、「環境や社会、ガバナンス(企業統治)に配慮し、どれだけ社会や働く人に貢献できているか」という非財務情報も基準にして投資先を選ぶ方法も重視されてきています。つまり「儲かっている」という基準だけでなく、「事業を行ううえで環境保護に配慮している」「地域社会に貢献している」「安心して働ける労働環境を整えている」といった基準も合わせて「よい会社」と評価される社会に変わってきています。

⑤ そこで！本制度(シマシ SDGs パートナーズ)を活用しませんか！

みなさんや、みなさんの会社が社会課題の解決につながる素晴らしい取組をしているのであれば、その取組は広く知られ、正当に評価されるべきです。本制度を活用し、取組を「見える化」しましょう。パートナーズへの登録は難しくはありません。

ん。今取り組んでいる SDGs の取組、今後取り組んでいく SDGs の取組を「宣言」しましょう。「宣言」することで、自動的に「シマシ SDGs パートナーズ」に登録されます。

⑥ 本制度(シマシ SDGs パートナーズ)の目的

SDGs の推進は、行政だけが取り組むのではなく、多様なステークホルダーとのパートナーシップのもと、経済・社会・環境の3つの側面で統合的に取り組むことが重要です。志摩市は 2018 年に国から「SDGs 未来都市」に選定されました。本制度は、志摩市 SDGs 未来都市計画において、新たな繋がりを生み出し、経済循環・自律的好循環へとつなげる取組として位置付けています。

経済面・社会面・環境面で様々な活動をしているみなさまの、SDGs の目標達成に資する取組を「見える化」し、対外的に発信するとともに、「自分ごと」としての気づきや意識づけにつなげます。

さらにパートナーの取組が促進されるように互いに支援し合うことで、好循環を生み出すことを目指します。

